問 市道S字カーブの整備計画は
答 減速対策を検討したい

小林 喜代司 議員（自民・新栄会）

早急に安全対策が求められるS字カーブ（田辺地内）

問 市の中心市街地を流れる天井川である天津神川の整備については、再三整備を要望してきた。今後、府と、どのような計画で整備を進めようとしているのか。

（建設部長）河川点検の結果を踏まえ、損傷箇所の補修や水位計、河川防災カメラの設置が行われた。府道八幡木津線の水路橋は、府で設計委託の発注が済んでいる。

（建設部技監）天井川の緊急点検に基づく損傷箇所について、特に平成25年は河床のコンクリート張りが行われた。26年度は天井川区間の全線にわたり、側壁の工事を実施すると聞いている。府道八幡木津線の水路橋については、耐震補強と合わせて設計が行われている。測量と土質調査は25年までに終わっている。府と連携し、一日でも早い改修ができるように取り組みたい。

問 市道新田辺一休ケ丘線のうち、田辺本町交差点から山手幹線までの間は道路も狭く、尼ケ池付近は坂道でS字カーブがあり、非常に危険である。早急に整備が必要では。

（建設部長）この道路の安全対策として、信楽街道踏切の歩道整備など、積極的に取組んでいる。今後も歩道の整備を進めたい。尼ケ池付近のS字カーブについてはゼブラを引いているが、路面標示を含め、道路管理者として減速対策を検討したい。

問 市の文化財調査に伴う出土品や、多くの市民から寄贈を受けた民具などの管理、整備は万全に行われているか。

（教育部長）26年度から市が所蔵する歴史的資料を調査、整備して公開するために、京都府立大学地域貢献型特別研究の採択を受けて、ボランティアの市民にも参加いただき、文化財の保存に取組んでいる。市民から寄贈された文化財や民具などについても順次整理して保存している。

問 中学校給食の実施を
答 当面は注文弁当を継続

水野 恭子 議員（共産党）

問 平成26年6月、学校図書館法の改正により「学校司書」が法制化された。付帯決議でも配置のあり方や、全校配置の検討を行うことなどが決議されている。また、2校に1人配置の交付税措置が行われている。しかし、本市は、3校に1人の司書配置であり、「教育に寄与する」という学校図書館法の目的は達成していない。全校に司書を配置すること。また、図書のデータベース化の早期実施をすべき。

（教育部長）今回の法改正は、司書を置くことを努力義務として定められていることから、本市でも司書配置を行っており、先行実施している。データベース化は、導入にあたり、総合的に考えたい。

問 中学校給食の実施を。25年度から「昼食提供事業」が実施され、選択式デリバリー弁当が導入されたが、利用者は少ない。市の評価は。22年12月議会で「中学校給食の実施を求める請願」が趣旨採択されたが、この趣旨は、小学校のような給食をしてほしいというものだ。教育の一環として、中学校給食を実施すべき。

視察で訪れた群馬県高崎市の中学校給食

（教育部長）デリバリー弁当は、平均で月320食。弁当を持参できないときの一助となっている。当面は注文弁当を継続する。

問 新田辺駅西口前に時計を設置すべき。高齢者や障がい者の方からも要望がある。

（建設部長）時計の設置は一つの意見としてお伺いしたい。

問 桃園小学校の留守家庭児童会は定員をはるかに超え、今後も増えることが予想される。施設の拡充をすべき。

（教育部長）学校施設の活用を基本に考える。

問 名所・旧跡である虚空蔵谷の保存と、十三参りの伝統行事を守るべき。

（総務部長）大事なものと認識している。

問 老人福祉センターの受益者負担は
答 引き続き課題として検討

鈴木 康夫 議員（一新会）

問 高齢者にとっての憩いの場であり、全国から視察に訪れる老人福祉センター宝生苑が、より多くの市民に親しまれ、愛される施設となるため、入浴やカラオケ、グラウンドゴルフなどの利用に受益者負担を導入する考えはないか。利用されている市民からも有料化を、との声を聞くが。

市民の憩いの場である老人福祉センター宝生苑・大住児童館

（健康福祉部長）受益者負担の導入は、行政改革の項目にあげているが、国の通知では原則無料で、全国的にはともかく、近隣市で有料は皆無である。今後引き続き課題として検討する。

問 本市の財産であり、まちおこしの切り札との声もある全国小学生ハンドボール大会。平成26年度の改善点と、ボランティアで指導されている先生へのサポート強化は。

（教育部長）ホームページ上に特設サイトを開設、大会期間中の一休品販売、地元のお茶業者の出店を行った。マスコミでの記事取扱いも大幅アップを図った。指導者へは、校長会や小学校体育連盟と協議し、配慮を行った。

問 本市の将来人口推計が公表された。その中で、小学校区の将来像は、まちづくりの観点から重要課題である。現行の9学校区体制の将来ビジョンと、山手南地区の小学校予定地の位置付けを問う。小学校建設の目途がないなら、地元に益のある活用計画を策定すべき。

（教育部長）同志社山手や山手西地区の児童数増加が予想されるが、増築等の整備で対応する。校区の見直しは考えていない。山手南地区の小学校予定地は、引き続き小学校予定地として考えたい。

（市長）京阪と折衝し、市への寄付を前提に小学校予定地として確保した。将来的に不確定な要素がある中で、現時点では、小学校予定地として位置付けたい。

問 幼稚園の保育時間見直し
答 平成27年度から全園で実施

上田 毅 議員（一新会）

問 市内の教育現場にてAED講習を導入する事を提案する。自治体による講習だけでなく教育現場である小学校・中学校においてAEDの使用方法の実施を積極的に取り入れることが必要。1年か2年に1回の講習ではなく、学期毎に1回のペースで授業に組み入れてはどうか。また、その際、バイスタンダーになった時に心臓マッサージ、人工呼吸も行えるように合わせて実施してはどうか。

（教育部長）命の大切さを子どもたちに伝えていくことは非常に大事。発達段階に応じた工夫ができるよう努めたい。

問 幼稚園における保育時間の見直しについて。働く女性は増加し続け、経済を安定させる大きな原動力となっている。「働く女性の社会」へと変化しているので、保育時間の延長が幼稚園においても必要と考える。受入れ時間を少しでも拡大し、保育所に近づけなければ、今の社会情勢を見る限り、幼稚園に入園される割合は、年々減少をたどると危惧する。水曜日も含め、保育時間を引き延ばすべきでは。

（市長）市民の子育てニーズに応えていくことが重要であると考え、平成27年度から全園で実施してまいりたい。

全園で預かり保育が実施される市立幼稚園

問 高齢者及び障がい者などの方々に対する「手伝い隊」・「見守り隊」の発足を提案する。「買い物難民」の対策として、政府は高齢者の自宅に食材や日用品等を届ける宅配サービスを始める方針であるが、本市では地域サービスとして、どの様な策があるのか、「考えていき隊」を立ち上げ、「手伝い隊」・「見守り隊」活動を拡大してはどうか。

（健康福祉部長）生活支援ニーズと市民の力を繋げ、展開を図ることは、高齢者福祉計画で課題になる。